



オリーブ便り Olive News

2020.11.01

No. 437

香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

「女性医師の集い」(第42回)を実施しました

香川大学医学部附属病院 医師キャリア支援センター

2020年7月27日(月)12時30分から、医学部管理棟5階小会議室にて、「第42回女性医師の集い」を実施しました。この女性医師の集いは、女性職員のモチベーションアップを図るために、キャリア形成、育児、ワーク・ライフ・バランスの問題等、ざっくばらんに医師や研修医が意見交換できる場として、年間5回開催しています。

今回は、男女共同参画推進室からの国際学術論文投稿費用補助等の再募集の告知及び医師等へのアンケート内容等について話し合いがありました。新型コロナウイルス感染症対策も考慮し、軽食等は持ち帰りとなりました。



「お月見かざり」を設置しました

香川大学医学部 医療支援課

秋の夜空の美しい月を眺め今年の収穫に感謝し、豊作を祝う「お月見」。本院では9月23日～10月1日に病院外来中央診療棟1階玄関ホールに「お月見かざり」を飾りました。

夏が過ぎ、涼しくなり始めたこの時期に、夜空に輝く月を見て楽しむのは、日本の秋の風物詩です。是非、ご家族のみなさんやたいせつな方と、素敵な時間をお過ごしください。



科長の横顔

座右の銘、ポリシー

「隗より始めよ」 まずは出来ることから始める、他人任せではなくまずは自分が動く、というところでしょうか。そのような気持ちでやっていると、いつの間にか周りが助けてくれる、と信じてやっております。と同時に「明日は明日の風が吹く」という、まあ何とかなるだろう精神も忘れないように心がけています。

診療科紹介

耳鼻咽喉科・頭頸部外科はその名の通り耳、鼻、咽喉、頭頸部腫瘍と疾患が多岐にわたり、患者さんの年齢層も幅広く、対応する医師も様々な個性が求められます。1mmの誤差も許されない聴覚・音声手術、嗅覚を取り戻す手術、15時間を超える拡大手術もあれば、加齢に伴う聴覚、平衡覚、味覚、嚥下機能低下への対応など、地域医療の一員として他の医療機関と協力して役割を果たしていきたいと考えています。



香川大学医学部附属病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
科長 星川 広史

師長の横顔

座右の銘、ポリシー

「あせらず、休まず」これは中学時代に恩師からいただいた言葉です。実のところ当時はあまり気にも留めておりませんでした。しかし20代、30代、40代、50代と年齢を重ねるごとにこの言葉の重みを感じております。投げやりになりそうな苦しい場面、押しつぶされそうな局面において「あせらず、休まず」は、その時々自分を戒め、慰め、ゆっくりゆっくりと歩むことの大切さを教えてくれています。

病棟紹介

東病棟7階には、耳鼻咽喉科・頭頸部外科が23床あります。「食べる、話す、呼吸する、匂いを嗅ぐ、聞く」これらの機能は普通にあることが当たり前だと思っていないでしょうか。一瞬にして失うこともあります。また、一つ一つの症状が折り重なって、日常の多くの問題として患者さんにふりかかることもあります。

治療を受けることは、期待とともに多くの苦痛を伴います。私たちは、患者さんの表情の変化を観察し、時には文字盤などのツールを駆使して、患者さんの思いに近づき、少しでも苦痛を和らげられるような看護を提供できるよう努めています。



香川大学医学部附属病院
東病棟7階
師長 香西 尚実



耳鼻咽喉科・頭頸部外科スタッフ集合写真



東病棟7階スタッフ集合写真

認知症は予防できるのか？

香川大学医学部附属病院 精神科神経科 講師 森 崇洋

先日、政府が「70代の認知症の発症を10年間で1歳遅らせる」との数値目標を取りやめたという報道がありました。認知症の予防法が確立されていないうえ、予防を強調し過ぎると自己責任論に結びつくとの懸念が背景にあるようです。確かに認知症の原因は不明な部分が多く、予防できる原因ばかりではないため、これらの懸念はもっともなことだと思います。しかし認知症を促進する危険因子と抑制する防御因子については解明が進んでおり、できるだけ危険因子を減らして防御因子を増やすような生活を心がけることは望ましいことと言えるでしょう。

危険因子としては糖尿病、喫煙、中年期の高血圧や肥満があり、中年期から生活習慣に気を配ることが大切です。高齢になると白内障や加齢黄斑変性、加齢性難聴などで目や耳から入ってくる情報が減ることにより脳が不活発になります。目や耳の衰えは危険因子となりえるため、年のせいと放置せずに早めに対応することが望まれます。

一方、防御因子としては適切な運動や食事、知的な活動、社会的参加、良質な睡眠があります。運動は散歩や水泳を無理のない範囲で行うことが勧められます。食事は野菜、魚、豆類を多めに取ることが認知症予防に効果があります。野菜に含まれるポリフェノールは抗酸化作用を通じて老化防止作用を発揮し、魚に多く含まれるEPAは血栓を予防するとともに、DHAは認知機能を改善します。また、歯を大切にすることも重要です。歯磨きを怠ると歯周病になりやすくなり、体が歯周病菌を攻撃するために放出する炎症性物質が血流にのって体中を回り、危険因子である動脈硬化を促進してしまいます。知的な活動としては、新聞を読む、日記を付けるなどが勧められ、読むときに音読をすとなおよいでしょう。社会的参加としては、友達に会う、地域の活動をするなど、人との交流を保つことが勧められます。近年、睡眠がアルツハイマー病の原因物質の排出に重要であることが分かってきています。夜間の良質な睡眠のためには、昼寝をする場合は午後3時より前にして、時間は20分程度にとどめておくことが勧められます。1時間以上昼寝をすると、夜の睡眠に悪影響が出てしまいます。

毎日新聞「四国健康ナビ」令和元年7月2日掲載分

病院ホームページ、トップページをリニューアルしました

香川大学医学部 総務課広報法規・国際係

今回のリニューアルでは、ご利用される皆様にとって、見やすいサイトとなるようトップページのデザインを全面的に刷新しました。

これからも、引き続きご利用の皆様のお役に立つ情報の提供や、内容の充実に努めてまいります。今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



「まぶた」の問題で悩んでいる人は、意外に多いものです。まぶたの問題は美容だと考え、治療には高額な費用がかかると思いついて入っているケースも多々見られます。しかし、機能的に問題のある場合、健康保険を使うことができます。

また、「まぶたは目の一部だから」と考え、眼科を受診する方が多いのですが、形成外科においても眼科と同じか、それ以上の症例数を治療しています。

まぶたについての悩みで頻度が高いのは、眼瞼下垂(がんけんかすい)と、ケガや、やけどの後に生じたひきつれです。

眼瞼下垂とはまぶたが垂れる病気で、生まれつき垂れている場合もあれば、中年以後になって垂れてくる場合もあります。これら二つの状況は、まぶたが垂れているという点では共通していますが、原因は異なります。

生まれつきの下垂は、まぶたを持ち上げる筋肉の発育が悪いことが原因です。一方、年齢とともにまぶたが垂れてくるのは、筋肉が緩んでくるのが原因です。

二つの状況は、原因が異なるがゆえに、治療もまったく異なります。生まれつきの下垂の場合には筋肉が機能していないので、筋肉の移植が必要です。それに対し加齢に伴う下垂の場合、たるんだ筋肉をたくし上げれば解決します。

香川大学医学部附属病院形成外科・美容外科では、いずれの場合でも対応が可能なので、ご相談ください。

眼瞼下垂は眼が開けにくくなる病気ですが、これとは逆にまぶたが閉じにくくなる場合があります。交通事故などのケガや、やけどが原因でまぶたがひきつれてしまうような場合です。ひきつれを治すにはまぶたに皮膚を移植したり、特殊な縫い方をし、まぶたの形を整えたりすることが必要です。

ひきつれは形の問題だから、健康保険の適用にならないと思っている方は多くいます。ひきつれの結果、見えにくい・眼が閉じにくい症状があれば、機能的な問題なので健康保険の適用になります。

まぶたの構造は複雑で、非常に高度な技術が要求されます。他県で手術をお受けになったあと、結果に満足できずに香川大学医学部附属病院を受診される患者さんも多数いらっしゃいます。お悩みの方は、ご相談ください。

毎日新聞「四国健康ナビ」令和元年8月20日掲載分

臨床研究に関するご案内

香川大学医学部 倫理委員会委員長

香川大学医学部附属病院 治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院 臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意したいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2020.11~2020.12月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
11/29 日	13:30~16:20	サンサン館みき 2階 第1・2会議室	2020年度肝がん撲滅運動市民公開講座	消化器・神経内科学	(087)891-2156
12/6 日	13:00~16:00	サンサン館みき	肝臓病 市民公開講座	肝炎治療相談窓口	(087)891-2468
12/10 木	14:00~15:00	西病棟1階カンファレンスルーム	肝臓病教室	肝炎治療相談窓口	(087)891-2468
12/13 日	8:50~17:25	西病棟7階カンファレンスルーム	緩和ケア研修会	医療支援課 医療連携支援係	(087)891-2452

イキイキさぬき健康塾は新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、**2021年3月末まで中止とさせていただきます。**新しい日程が決まり次第改めてご案内申し上げます。

編集委員会 (50音順)

(2020年11月現在)

阿部(看護)、荒井(検査)、井町(外来)、樫原(管理)、小坂(薬剤)、筒井(経営企画)、常森(病棟)、仁尾(医療支援)、前川(医事)、南野(副病院長)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務) [委員長 田宮病院長]